



1/5 3年ぶり開催 新年の門出を祝う

3年ぶりにANA ARENA浦添で新年祝賀会が開催され、新年のあいさつを交わしました。

コロナ禍のため、今年は食事の提供を控え、例年より短時間の開催にも関わらず、約千人が参加し、多くの市内企業や団体の関係者で賑わいました。また、メインイベントの鏡開きは、司会の「よいしょ、よいしょ、よいしょー!」という掛け声とともに行われ、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

松本市長はあいさつで「一人一人がチーム浦添として、新しい輝く浦添を創っていけるよう、今年もどうぞよろしく願います」と一致団結を呼びかけました。



12/23 フードバンクで広がる協力の輪

浦添市国際交流協会(UIRA)の取り組みの一つであるフードバンク。県内在住の外国人が安心して生活を送れるようにと寄せられた食品や日用品は、UIRAスタッフを通して県内の日本語学校の留学生や、県内在住外国人に届けられました。

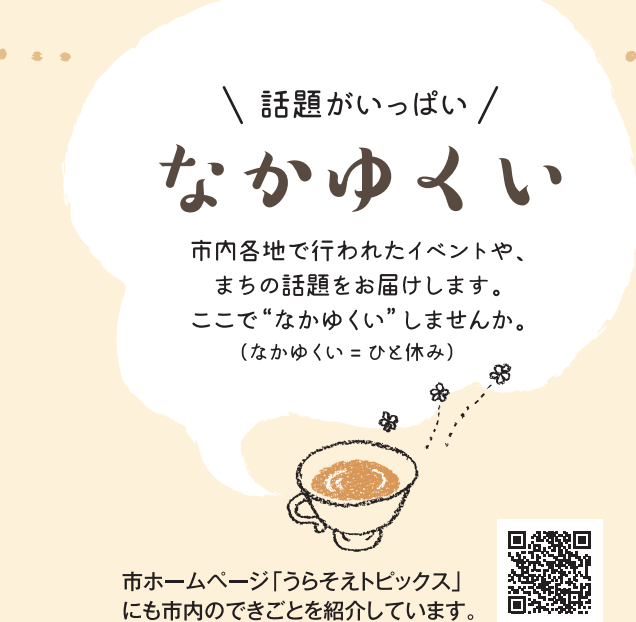
食品を受け取った留学生からは「お米をいっぱいありがとうございます。友達と一緒に、お米を使ってネパールのカレーを食べました。とてもおいしかったです」と喜びの声が届きました。UIRAスタッフは「寄贈してくれた皆さまのご協力に感謝します。国籍を問わず、全ての人が安心した生活を送ることができるよう事業を続けていきます。今後ともよろしくお願いします」と話しました。



1/5 地域を守る 決意新たに消防出初式

新年を迎え、市消防本部では「令和5年消防出初式」が行われ、松本市長をはじめ、市議会議員や教育長、一日消防長を務めたたご大使の本村杏珠さんらが参加しました。

式典では、長年の勤続を称える永年勤続の表彰式があり、12人の消防職員・団員が表彰を受けました。また消防職員・団員、女性防火クラブによる展示訓練が行われ、人命救助や火災現場への進入、一斉放水など、実際の現場の臨場感や緊張感が伝わる訓練が繰り広げられました。松本市長は、「引き続き、本市の安全・安心なまちづくりへのお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と訓示を述べました。



市ホームページ「うらそえピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



1/18 中学生平和交流団の学びをつなぐ

令和4年度ピースメッセンジャーが、平和学習の成果を報告する「中学生平和交流団壁新聞展～伝える過去、つなげる未来～」が仲西中学校で開催されました。この展示は2月15日(水)まで市内各中学校で順次開催されます。

沖縄戦や学童疎開について学んだピースメッセンジャーが、「平和への思いを込めて」まとめた壁新聞を見た生徒は「とても詳しい内容で、戦争の恐ろしさ、過酷さ、怖さがより深く伝わった」「戦争の影響は沖縄だけではなく、疎開先でもさまざまな被害があったことを知ることができた」と話しました。

壁新聞展は、2月21日(火)から3月1日(水)まで浦添市役所1階ロビーでも開催されます。



12/23 伝統の技を体現し認定

国の重要無形文化財である「組踊」と「琉球舞踊」の歴史的、芸術的に価値の高い技を持つ人に与えられる保持者の認定として、組踊(立方)1人、琉球舞踊(舞踊)3人、琉球舞踊(歌三線)1人が本市から選ばれました。

認定の報告に玉城千枝さんと安座間明美さんが市役所を訪れ、琉球舞踊(舞踊)の重要無形文化財保持者として認められた玉城さんは「国の文化財に、生きている人間の私が認定されて、これからさらに頑張らないといけないという気持ちです」とこれまで受け継がれてきた伝統を後世へ伝えていくことへの意気込みを話しました。



12/20 組踊おでかけワークショップ in 沢岬小

国立劇場おきなわの芸術監督、金城真次さんと演者の島尻紀希さん、棚原健太さんを講師に招き、「おでかけワークショップ」が沢岬小学校で行われ、6年生約110人が参加しました。児童たちは、組踊の起源や、組踊の3要素である「台詞」「音楽」「所作」について映像や実演を通して細かな説明を受け、組踊に関するクイズや所作(歩き方や手・指の動かし方)に挑戦しながら、楽しく学びました。また、三線や琉球舞踊を習っている児童と講師と一緒に、「ていんさぐめ花」や「かぎやで風」を披露しました。

児童からは「緊張したけど、みんなの前で三線を弾けて楽しかった」「機会があれば国立劇場おきなわに、組踊や琉球舞踊を観に行きたい」などの声が上がりました。



12/15 小学5年生で日本一の俊足

日清食品カップ第38回全国小学生陸上競技交流大会の5年生男子100メートルの種目で、沢岬小学校の下地広純さんが12秒93で全国優勝しました。その栄誉をたたえて下地さんに第53号輝くてだこ市民賞の表彰状と記念品が贈られました。

父の広昭さんとコーチの譜久里武さんは、広純さんについて「とにかく自分で考えて突きつめるタイプ」と話し、陸上を始めて間もない広純さんの普段の練習の様子などを市長へ報告しました。広純さんは「来年も優勝できるようにがんばります」と次回への意気込みを話しました。